

吹抜けのリビングを中心に家族の交流を計画 外断熱・ハイブリッド換気の快適健康住宅



洋風切妻のお洒落なたたすまい ウッドデッキで庭との一体感を

上/広い敷地を活かし、老人室は離れたとしたH邸。破風や調差し、窓枠等をアクセントカラーの白で仕上げた、个性的でお洒落な洋風切妻の外観フォルムで、ダイニング南側には庭との一体感を図るため、ウッドデッキを設置。外壁は重厚感のある屋根にマッチした、明るいベージュの吹付け仕上げ。構造は柱・土台に防虫加工なしで使えるセバ材を採用し、高耐久の造り。基礎:ベタ基礎、外壁:サイディング、アクリルリシン吹付け、屋根:三州瀬戸瓦(平瓦)葺
下/上り框を斜めにカットして、奥行き感を持たせた玄関ホール。玄関収納は大きめのクロークを設けて、空間をスッキリと。
床:150角磁器質タイル(玄関)、化粧フロア(ホール)、壁:クロス、天井:クロス

スカイシステムが生み出す 全面吹抜けの開放空間

左/リビング上部は全面吹抜けとし、明るさと開放感いっぱいの造りに。暖房効率から言えば、デメリットとなる吹抜けだが、外断熱と健康換気の「スカイシステム」によって、上下で温度差の少ない空間が可能となり、こうした設計が可能に。また、この吹抜けはリビングと2階個室をつなぐ役割を担っており、家族の気配を感じとることができる。
床:化粧フロア、壁:クロス、腰壁:杉板、天井:クロス

下/家族が常に交流できるように、ホールから2階のプライベート空間に至る間にリビングを設けた。天井は梁あらし仕上げとして、吹抜け空間にアクセントをつけている。



リビングを中央に置いて、和室とDKを左右に接続。和室の建具を開ければ、開放感あふれる大空間が出現。キッチンも扉を開けて、リビングから見えにくい設計。LDの腰壁は杉板張りとして、ぬくもり感を持たせた。



ホール上部には、屋根勾配を活かして、本棚付きの書斎(ロフト)を設置。手摺り壁はホールを彩る飾り棚に造作。
床:化粧フロア、壁:クロス、天井:クロス

家のポイント

外断熱工法に同社独自のハイブリッド換気システム「スカイシステム」(工法特許)を導入し、室内の温度差の少ない快適空間を実現。太陽光発電をセットするとゼロエネルギーが可能。

設計・施工 国興ホーム・(株)国興

長野県松本市寿南1-7-22
〒399-0027
TEL: 0263-58-2095
FAX: 0263-58-2015
E-mail: cocco@pop01.odn.ne.jp

<http://www1.odn.ne.jp/cocco/>



常念岳の山裾に広がる静かで自然豊かな穂高の別荘地近くに建てられたH邸。設計にあたり、明るく、家族が集いやすい間取りで、快適かつ健康に暮らせる家にしたと希望し、設計・施工を国興に依頼されました。

そこで、平面プランは全居室を明るい南向きとし、採光性をアップ。吹抜けのリビングは、ダイニング・キッチンとワンルーム設計の開放的な空間としたほか、和室と畳を接続させ、一体的利用が可能な造りに。さらに2階個室への階段をリビング内に設置するなど、家族が集まりふれあえるよう工夫されています。

気密・断熱対策としては、外断熱工法に同社独自のハイブリッド換気システム「スカイシステム」(工法特許)を導入。これは、冬は気密・断熱性の高い開口部から太陽熱を取り入れ、さらに生活熱や地熱を活か

採光を高めた全室南向きプラン リビング内に2階への階段を設置



すため、使用木材やコンクリート基礎耐圧盤で蓄熱を利用。春秋は自然の風を生かし、夏は外のさわやかな空気とひんやりとした土間などと組み合わせ、一年を通してナチュラルで快適な室内環境を実現するアイテム。

「エアサイクルが入っているため、冬暖かく夏涼しく過酷ではありません。リビングの吹抜けで開放感があり、窓も大きくて明るく、住み心地は抜群ですね」と、出来栄えに大満足です。



所在地: 長野県南安曇郡穂高町
施主: H邸(施主:40歳代)
家族構成: 夫婦+子ども2人
構造: 木造軸組工法

面積
敷地: 489.71㎡(148.13坪)
延床: 207.01㎡(62.61坪)
1階: 137.87㎡(41.70坪)
2階: 69.14㎡(20.91坪)

工事費
本体: 2,900万円
設備: 500万円
総工事費: 3,400万円

国興ホーム